

様式C-1 繰越（翌債）承認要求額の算定根拠

- 1 研究課題ごとに別葉として作成すること。
- 2 「繰越（翌債）承認要求額」欄について
繰越（翌債）承認要求額について、「直接経費及び間接経費の合計」、「直接経費」、「間接経費」の金額を記入すること。また、直接経費についての費目別使用内訳を記入すること。
間接経費が措置されている研究種目については、繰越（翌債）承認要求を行う直接経費の30%に相当する額の間接経費も繰越（翌債）承認要求を行うこと。
- 3 「算定根拠」欄について
繰越（翌債）承認要求額の算定根拠について、内訳（単価、数量等）も含めて、記入すること。

様式C-2 繰越（翌債）を必要とする理由書

- 1 研究課題ごとに別葉として作成すること。
- 2 「研究課題」欄について
課題番号と研究課題名を記入すること。
- 3 「事業概要」欄について
研究課題の概要について記入すること。
- 4 「(当初計画)変更後の計画」欄について
上段に「当初計画」を下段に「変更後の計画」を記入すること（この記載内容を様式C-3において図示すること）。
- 5 「事由」欄について
繰越（翌債）承認を要求しようとする繰越事由に最も類似するものを左欄から選び、それに該当する右欄の「記号等」（財務省通知に基づくもの）を冒頭に記入すること。
「記号等」の（ ）内には、繰越（翌債）承認要求の「具体的な内容」を簡潔に表す表題を記入すること。
「○具体的な内容」の項目には、交付決定時には予想し得なかった要因が生じた時期、その要因の解決にかかる期間、補助事業を年度内に完了することができない理由を具体的に記入すること。その際、経費を繰越す必要性、補助事業の完了時期も併せて示すこと。

繰 越 事 由	記 号 等
〔研究に際しての事前の調査〕 (例) 研究に際しての事前の調査に予想外の日数を要したため	⑦研究に際しての事前調査又は 研究方式の決定の困難 ア
〔研究方式の決定の困難〕 (例) 研究方式の決定に予想外の日数を要したため	⑦研究に際しての事前調査又は 研究方式の決定の困難 イ
〔計画に関する諸条件〕 (例) <ul style="list-style-type: none"> ・新技術・新材料及び新規条件の出現により当初計画の改良 ・変更により予想外の日数を要したため ・国際シンポジウム等の招へい研究者の事情急変により国際シンポジウム等の開催計画の見直しにより予想外の日数を要したため ・諸外国との共同研究において当初計画の改良・変更により予想外の日数を要したため ・研究の進捗状況に応じた評価の実施により当初計画の改良 ・変更により予想外の日数を要したため ・優秀な研究者の適時確保の必要性により当初計画の実施に予想外の日数を要したため ・当初予定していた成果が得られないことが判明したことにより当初計画の改良・変更により予想外の日数を要したため ・予想し得なかった新たな知見が得られたことにより当初計画の改良・変更により予想外の日数を要したため 	①計画に関する諸条件 キ (具体的な内容)

<p>〔気象の関係〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨（○月）のため、当初計画の実施に予想外の日数を要したため ・豪雪（○月）のため、当初計画の実施に予想外の日数を要したため ・風浪（○月）のため、当初計画の実施に予想外の日数を要したため ・気象の関係により当初計画の実施に予想外の日数を要したため 	<p>③気象の関係 ア（○月）</p> <p>③気象の関係 イ（○月）</p> <p>③気象の関係 ウ（○月）</p> <p>③気象の関係 エ（具体的な内容）</p>
<p>〔資材の入手難〕 （例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画遂行上必要となる研究用設備の納入の遅延のため当初計画の実施に予想外の日数を要したため ・希少な素材、材料、実験用動植物の入手困難のため当初計画の実施に予想外の日数を要したため 	<p>⑥資材の入手難 ウ（具体的な内容）</p>

様式 C-3 研究計画行程表

- 1 研究課題ごとに別葉として作成すること。
- 2 「研究課題名」欄について
研究課題名を記入すること。
- 3 「当初」欄及び「変更後」欄について
様式 C-2 の「(当初計画) 変更後の計画」欄の内容について、線表で示すこと。